

まつうら 市議会だより

第47号

平成30年8月1日

編集・発行

広報特別委員会

電話(0956)72-0264

平成30年度一般会計補正予算約6億3486万円を可決

今回の補正は、市の政策的な予算の編成です。産地パワーアップ事業、図書館充実事業、運転免許証返納支援事業などの新たな事業も行われます。

**第2回
定例会**



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

「御厨町 大崎海水浴場」

平成30年 第2回定例会

平成30年第2回定例会を、6月8日(金)から6月20日(水)までの13日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市財産評価委員会条例の廃止など条例7件、平成30年度各会計補正予算8件、その他の議案6件の合計21議案が上程され、いずれも原案のとおり可決いたしました。(※議案等の審議結果については、11ページに掲載)その他、市長の専決処分の承認案4件の承認及び請願2件の採択を行いました。

最終日には、松浦市職員懲戒審査委員会委員の選任の同意案1件及び議員提出議案(意見書提出)が上程され、原案のとおり可決いたしました。また、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行いました。

会期日程

6月
8日(金)

本会議

▽会期の決定

▽議長長の報告

▽市長の市政概況報告

▽市長提出の諸事項報告

▽議案の上程・説明・審議・主管委員会付託

▽請願の受理報告・主管委員会付託

9日(土)・10日(日)
休 会
本会議

11日(月)・13日(水)
休 会
本会議

▽一般質問

14日(木)・15日(金)
休 会
委員会

16日(土)・17日(日)
休 会
委員会

18日(月)
休 会
委員会

19日(火)
休 会
委員会

20日(水)
休 会
本会議

▽主管委員会付託案件の審査報告・採決

▽追加提出議案の上程・説明

・審議

▽選挙管理委員会委員及び補充委員の選挙

▽議員提出議案の上程・説明

・審議

・審議

議会の傍聴に

おでかけください。



次の定例市議会は

9月です。

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコンで視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス

<http://www.city-matsura.jp>

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

TEL(0956)72-0264

一
般
質
問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内(答弁と関連質問を含む)という取り決めになっています。

今定例会では、6月11日から13日の3日間で12人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

一般質問



武 辺
議 員

○松浦市教育振興基本計画の進捗管理状況について

質 松浦市では全学級に電子黒板が整備されているが、現在こういった利活用がされているか。

学校教育課長 電子黒板の画面に学習のポイントや子どもたちの意見を書き込む、外国語活動では、音声や動画を見せるなど、効率的に授業を進めている。

質 教師用のデジタル教科書を2020年の新学習指導要領に合わせて導入する考えはあるか。

学校教育課長 先行事例や学校現場の意見を踏まえて、検討していきたい。

質 保育園や幼稚園への読書活動に対する意識向上についての具体策はあるか。

子育て・こども課長 ①読書環境の整備、②保育所等の研修と参加促進、③保護者への啓発、④関係機関・地域ボランティア等の連携による取り組みの充実に対する支援がある。

質 御厨中学校の蛇踊りの蛇は教育予算で新調するという理解でよろしいか。

市長 学校備品として整備したい。

質 市民あげての読書活動推進方針の目的・概要について伺う。

生涯学習課長 来年度から子どもの読書活動推進計画を作成予定のため、その基本となるような考え方をまとめたものである。

○御厨地域振興について

質 御厨地区松浦港埋立地はコミュニケーション機能活用区域、防災緑地区域、経済活動区域の3つの区域で活用することと確定か。

政策企画課長 基本方針としては、3つの区域で活用していく。

質 活用策の具現化に向けた今後のスケジュールはどうなっているか。

市長 経済活動ゾーン、コミュニケーション機能ゾーンの面積の確定が必要である。スピード感を持って行い、県にも速やかに示したい。

質 県が行う防災緑地整備については残りの2つの区域の用地面積等が決定次第取り掛かるという理解でよろしいか。

市長 そのように理解している。

質 西木場女山線改良工事の完成予定はいつ頃か。

建設課長 平成32年度の完了を目標にしている。

質 完成後の有効活用については遊歩道整備等、地元と協議する考えはあるか。

市長 大崎地域の皆様と十分話し合い、可能な限り対応していきたい。

一般質問



山 崎
議 員

○げんきっこひろばの今後について

質 げんきっこひろばの廃止に至った経緯について伺う。

子育て・こども課長 平成28年度から民間委託先が見つかるまでの暫定的な措置として市の直営で実施してきた。げんきっこひろばでの児童発達支援と事業の今後ということで、平成29年度当初から協議を重ねていた。その中で、施設の設置廃止とともに事業を廃止して、民間で実施可能な事業は民間へ移行し、移行できない支援に関しては市で実施していくということと市の方針とした。これについては、平成29年12月に議会の全員協議会で説明し、利用者の方々に対しては、平成30年2月から3回説明を行った。

質 これからの支援体制について伺う。

子育て・こども課長 げんきっこひろばは、一事業所として未就学児に対する放課後発達支援事業と小学生に対する放課後デイサービスを実施していた。廃止後は、児童発達支援事業については、市内に9月開設を予定している事業所や、近隣市町の事業所の利用を進めていく。放課後デイサービスについては、市内開設

の事業所や近隣市町の事業所の利用を進めていく。それぞれ相談支援事業所の利用を促して、今後も療育が継続できるよう個別で調整を図りたいと考えている。

市長 決して民間に丸投げする意識はない。今後は、支援事業所として民間が十分に担えないものについては、これまで培ってきた体制を活かしながら親子教室等の事業を拡大し、支援体制を整えていきたい。

○松浦市立中学校部活にサッカー部がないことについて

質 現在、市内で多くの小学生がサッカークラブ等に入部し活動されている中、本市中学校にはサッカー部が存在しない。子どもたちの夢や才能を途中で諦めないでいよう、中学校部活にサッカー部を設立してはどうか。

学校教育課長 要望が上がっているのに、設置できない最大の理由は、生徒数の減少により部員が減り、中には廃部となる部もあり、新たな部活動を設置することが大変難しい状況にあることである。教育委員会としては、生徒が学校の部活動がないスポーツを行いたいと希望した場合、地域や社会体育等で希望するスポーツに参加することを認めることで子どもたちのニーズに応えていきたい。また、そういった大会に参加できるように配慮していきたい。

一般質問

徳田
議員

○県道整備について

質 県道の福島大橋で行われている工事は、何のための工事か。

建設課長 県によると、現在行われている橋梁補修工事は、橋台、橋脚の補修、簡易排水装置の漏水対策を施工中であるとのこと。また、今年度の工事として、橋脚の補修、伸縮装置の漏水対策工、照明灯のボトル交換を発注予定とのこと。

質 福島大橋の耐震強度はどの程度あり、地震で壊れないか。また、耐震診断はしたのか。

建設課長 県によると、現時点では数値的にはかれる根拠はない。福島大橋の構造形式上、落橋することはないとのことだった。しかし、県としても、耐震補強工事の必要があるかどうかの調査は必要であるとされており、今年度、耐震補強の必要性を判断する調査を実施する予定と聞いている。

質 県道喜内瀬鍋串辻線は、急カーブで危険な箇所が4、5カ所あり、直線部でも狭く、大型車とすれ違っていると危険を感じる。現在の基準に合った道路改良ができないか。

建設課長 県によると、既に2車線

改良が済んでいるため、新たな改良事業としての対応は困難であるとのことだった。

○海岸保全について

質 祝崎海岸の白土側は高潮対策が取られていない。対策ができないか。

建設課長 県によると、流れ込む排水路に取りついている護岸については、県が管理する護岸施設ではないため、津波、高潮対策については護岸の管理者において検討をお願いしたいとのことだった。

質 浅谷海岸の背後はコンクリートで舗装され市道に認定してあり生活道路として活用されている。県の護岸敷きだが、個人名義で登記されている。県の財産であり、登記替えができないか。

建設課長 現在、個人名義として登記がなされている部分については、県においても、管理する施設が個人名義であるのは好ましくないため、名義人の方々が寄附採納や登記に必要な書類作成に協力をいただければ、名義変更を行うとのことだった。

質 魚釣りや潮干狩りで駐車をされ困っている。駐車禁止や地元車優先等の看板が設置できないか。

建設課長 この道路は元々、道路ではなく、海岸施設の一部であることから、駐車する行為は好ましくない。現状の確認を行った上で県と協議を行っていききたい。

一般質問

武部
議員

○松浦市野球場の完成について

質 立派な野球場が完成した。オープンの予定はいつか。また、これからとしてはどのように考えているのか。

生涯学習課長 現在、一番問題になっている芝の養生を行っている状況にある。しかし、市民の皆様にお披露する時期もあるということから、現状では8月中旬から下旬ごろに、落成の式典というような企画をとりたいという方向で調整している。

質 維持管理の方法について、サポート制度を導入との考えだが、その制度の内容は。また、年間維持管理費の予算の内容を伺う。

生涯学習課長 サポーター制度とは、利用される団体や使用者の方々がさまざまな施設の管理をボランティアで率先してやっていただき、そのボランティアの中身に応じて施設を支援する制度である。一定のルールを決めて施設の利用料を減免、免除等をする中で管理費を少しでも抑え、施設を大切にすることを意識付けを行っている。年間維持管理費の予算については、初めて持つ施設でもあるので、周辺の自治体の同様な施設の数字などを参考にさせていただきたい。具体的な数字は現状では申し上げられない。

質 併設のグラウンドゴルフ場の整備についてはどうか。

生涯学習課長 今、野球場のできている横に、24メートル×60メートルの広さのスペースを整備している。今後、団体の皆さんとも利用形態等を含めて協議していきたい。

○安全安心のための防犯カメラの設置について

質 市内における防犯カメラの設置状況はどうなっているか。

防災課長 平成29年3月に松浦駅前、今福交通待合所付近、福島町塩浜公園に各1台設置している。また、このほかに、市が設置したものではないが、志佐商工振興会が県、それから市の補助を受けて志佐町内の3カ所に設置をされているという状況になっている。

質 防犯カメラを子ども達に対する不審者や見慣れぬ人からの声かけ事案等を見守る手段としたい。また、認知症の方の徘徊等の把握に役立たせ、行方不明者の捜索にも効果を発揮できると思う。全て何かあってからの設置にならないよう、市民の要望もあるので、防犯カメラのさらなる設置が必要と考えるがいかがか。

防災課長 現在のところ市がさらに設置するという具体的な計画はない。プライバシー侵害のおそれもあり、どこにでも設置できない。

一般質問

川下
議員

○企業誘致の推進について

質 堂山地区工業団地予定地の企業誘致の現状を伺う。

商工振興課長 現在、10月の完成に向けて造成工事が順調に進んでいる。当初進出予定の企業が進出を断念した状況で、現在、誘致企業は決まっていない。ただし、今年度、長崎県産業振興財団でも特に堂山の工業団地について積極的に誘致活動を行うと言われている。当財団には市職員1名を派遣しているため、連携しながら企業誘致に取り組んでいきたい。

質 当造成地は、長崎県産業振興財産の強い勧めがあつて、今にも企業誘致が実現するかのような状況を伝えられ、先の臨時議会でもそういった背景から、土地の造成について議会の承認を得た経緯がある。市長にはなんとしても企業誘致の実現に向けて頑張つていただきたい。市長の決意はどうか。

市長 私は長崎県産業振興財団の東京センターを訪ね、松浦市への企業誘致について直接依頼してきた。今後とも、企業の具体的な動きがあつたときには、先頭に立ってトップセ

ールスに努めていきたい。

○市営住宅の管理について

質 市営住宅の募集から実際に入居できるまでに、かなりの日数がかかつており、中には現段階で入居予定日をはつきり設定できない場合もあると聞く。このような状況は民間では考えられない。なぜこのようになつたか分析と今後どのように改善していくのか考えを伺う。

都市計画課長 入居希望者の需要に最大限応えるため、退去見込みの住宅も含めて募集を行ったことから、退去後の修繕に時間を要していることが入居予定を明示できない要因と考えている。公営住宅の営繕業務については、2人の大工を雇用して対応しているが、塗装や設備など大工以外の作業があり、大工の増員が必ずしも作業速度を上げることにつながりにくい。まずは、作業の段取りを十分に直し、迅速化を図るとともに、今後は、整備済みの住宅から入居時期を明確にした上で公募を行うことで、決定から入居までの時間短縮を図っていきたいと考えている。

そのほか、高齢者の健康維持対策、小中学校での地域学習、地域防災、文化事業の広域連携、情報基盤の整備について質問しました。

一般質問

谷口
議員

○地場産業の活性化に向けた取り組みについて

質 ビジネスアイデアを事業化していく場合の課題として資金調達が行われる。そのような場合の手段として、資金提供者と事業化に向け資金調達が必要な主体を、インターネット上のプラットフォームを介して結びつけるクラウドファンディングが注目を集めている。福井県鯖江市などでは、クラウドファンディングでの資金調達を行政として支援しているが、市としてもこのような取り組みを行うことは地場産業の活性化の観点から有効ではないか。

商工振興課長 毎年、創業支援の一環として、創業・経営アカデミーを実施している。今年度、このアカデミーのキャリアアップセミナーの中でクラウドファンディングに関する理解を深めるセミナーを開催する計画を進めている。誰でも参加できるように、地域の事業者の皆様はこのセミナーに参加いただき、まずはクラウドファンディングについて理解を深めていただきたい。クラウドファンディングの数ある企画の中から実

際に投資をしていただくためには、魅力的な企画を上げる必要がある。

そのため、その後の支援については、市だけでなく、商工会議所、商工会又は長崎県よろず支援拠点などの利用も考えた上で、一緒に何ができるか、支援できるかを考えていきたい。

○本市の財政状況並びに補正予算について

質 平成28年度から合併算定替の加算措置が段階的に縮減され、33年度からは廃止される。そのような状況も鑑み、本市では26、30年度にわたる第2次松浦市健全化計画を策定し、財政基盤の強化に向けた取り組みを行っている。そのような努力の中で、数値的にも少しずつ健全化に向けた成果が表れている。しかしながら、なおも厳しい財政状況の中にあり、予算編成においてはめり張りを付ける必要がある。6月補正においてどのような点に留意されたのか伺いたい。

市長 今回の補正予算では、ともだビジョンの具現化につながる事業に意を配し、予算を編成した。ともだビジョンを着実に実行することが、まちの活性化（基盤産業の確立、地域所得の向上、定住促進など）に結び付き、それが税収も含めた自主財源の確保につながり、財政基盤の改善に資するものと考えている。

一般質問

鈴木 立
議員

○救命救急道路として大変重要な板山トンネル及び棕呂路トンネルの長期完成計画について

質 松浦市は原子力発電所に隣接していることから、起きてはならない事故、事件が生じる事態となったとき、尊い市民を一刻も早く避難誘導し、多くの命を救う緊急性の高い救命救急道路と位置付け、非常に重要な板山トンネル及び棕呂路トンネルの早期完成を早期建設着工が行われるようにしていただければと思うが、理事者の考えを伺う。

市長 主要地方道佐世保日野松浦線は、佐世保市と松浦市を結ぶ広域基幹道路であり、原子力災害対策としての緊急避難道路である。また、佐世保市総合医療センター（第3次救急施設）への救急患者搬送のための命の道としても大変重要な役割を担っている。今後も棕呂路・板山トンネル建設促進期成会として、道路整備に必要な財源の確保、先行して実施されている板山トンネルの整備促進、棕呂路トンネル事業化までの道路改良の促進について、しっかりと要望していきたい。

○定住促進住宅建設と上志佐小学校児童数減少対策について

質 百数十年の歴史と多くの子ども達を輩出し、大変な歴史的重みを刻んで今日があるこの上志佐小学校を、少子化は時代の流れで全国的なことだからと、何ら知恵も出さず、万策尽き果てるまで努力もしないで廃校を迎えることは、長い歴史を歩んできた学校と卒業された先輩の方々に申し訳ない。署名活動で652名の方が賛同されたことは、非常に重い廃校回避の施策を伺う。

市長 今、市が持ち得ている情報では、住宅を建てても需要が見つからない状況にある。したがって、住宅建設が上志佐小学校の児童数を増やすことにはつながらないとの結論に至った。このようなことを踏まえ、今後は、上志佐小学校の児童数増加や上志佐地区での定住につながるような複合的な施策の組合せが必要と考えている。こういったことから、教育委員会の考え方と併せて対応していきたい。

教育長 上志佐小学校においては、今年度、複式学級が2学級発生している。教育委員会としては、松浦市小中学校適正配置計画を基本として、複式学級の解消策を考えている。具体的には、志佐小学校から上志佐小学校へ特別に転入学を認める制度を考えている。今後は、関係校長や保護者並びに地域の意見を聞きながら進めていきたい。

一般質問

久枝 久
議員

○「つばき荘」の今後の運営について

質 指定管理料として昨年度から1600万円を補助しているが、つばき荘経営者の報酬はどうなっているか。

食と観光のまち推進課長 株式会社つばき荘から提出された収支報告書には、役員報酬の記載はない。
質 29年度決算報告のガス代は幾らか。

食と観光のまち推進課長 年額で、754万4000円となっている。

質 現つばき荘の大広間でテーブルを使用している利用者を伺う。

食と観光のまち推進課長 テーブルに椅子使用で約50人となっている。

質 福島町内で福島小・中学校、元養源小学校の同期会や同窓会、法等、つばき荘では狭いから伊万里でしたとか聞いたことはないか。

福島支所長 直接聞いたことはない。

福島町内で30名以上の宴会をする場合、つばき荘以外に会場がない。人数によつては、最初からつばき荘が候補に上がらない場合もある。

質 昨年度からの指定管理料10年で、1億6000万円とすぐになる。指定管理契約10年間で現経営者が経営権を放棄や経営不能状況なら指定取消しもあり得る。現経営者が手を引

いたとき、その後の対応はできるのか。

市長 その時点で適切に考えるべきものと思う。福島島の全島公園化計画等の施策を通じて交流人口を増やし、つばき荘に宿泊してもらえよう市としても側面的支援はしっかり行う。今後は指定管理者と共に協議して取り組んでいきたい。

質 今後の累積赤字を考え、大広間の改造等適切な方法を模索すべきであるかがか。

市長 話合いの中で指摘は受けているが、まずは現施設をしっかりと活用する中で経営の健全化を図っていただく必要があるため、現時点で新たな投資を行う考えはない。

○長崎県が示した松浦市魚市場整備にかかる費用対効果について

質 県議会委員会質疑にある費用対効果1・05の意味は。

水産課長 投入する事業費1000に対し、得られる効果が105%という意味合いのものである。

質 中興ホールディングスから駐車場を年間約900万円で賃貸しているが、売買を書面で約束しているから文書を送付し、承諾する旨の文書を受け取っている。

質 平成32年度までの売買の実行は。
市長 魚市場の再整備が完了する平成32年度を目途に、中興ホールディングス様と協議を進めていきたいと考えている。

一般質問



神田
議員

○各診療所の今後について

質 青島診療所の勤務体制については週2日火曜日と金曜日の昼間で、夜間は医師不在の状態だが、このことについて不安の声が上がっていないのか。

健康ほけん課長 常勤医師の確保、それから、夜間の急病に対する不安の声が届いている。

質 青島地区については、夜間の病気やけがの場合は船で救急搬送されている状況だと聞いているが、行政としてこの状態をどのように捉えているのか。

健康ほけん課長 特に夜間の救急について不安があることから、青島地区の皆様と今後協議の場等を設け、救急体制の充実を図る必要があると考えている。

質 青島の医師確保については期限を切ってやっていただきたいが、今後、医師確保をどのようにしていくかと思われているのか。

市長 今後、市内への病院の進出等、医師が多数いる病院とどのように連携をとっていくか、あわせて、青島全体として安全・安心につながる対応を地域の皆様と十分に協議しながら必要な対応をとっていききたい。

質 福島、鷹島診療所の療養病床の介護保険施設等への転換の受け皿整備の進捗状況を伺う。

健康ほけん課長 整備方針を市の方で固めて、入院患者さんや地域への説明会を開催し整備方針を決定したいと考えている。

○JCH O松浦中央病院（仮称）について

質 JCH O病院開設に向け具体的な協議を進めているとのことだが、その協議内容を伺う。

市長 6月6日にJCH O本部に出向き、理事長ほか幹部の方々とお会いし、今後の対応について協議した。理事長からは、地域に根差した病院となるよう取り組みたいとの話があり、私からは、どのような病院として運営されるのか、内容についてJCH Oから直接、市民に説明していただきたいとお話した。

質 将来的には各診療所の医師についても一手に引き受けていただくようなこともJCH O病院との協議の場に上げていただきたいと考えているがいかがか。

市長 医師の確保対策については、市独自での取り組みだけでは難しい状況にある。JCH O病院には松浦市地域医療の核となる医療機関としての役割を求めているところで、ご提案のように、各診療所の運営についての協力を求めていると考えている。

一般質問



宮本
議員

○行政視察案内に関する市長の考え方について

質 議員は行政視察で全国の自治体に視察研修に参るが、視察研修先の自治体の応対ぶりにより、その町のイメージが変わる。全国の自治体の中には、年間何百人も行政視察を受け入れているところもある。交流人口の拡大と行政や議会の質を向上させる意味からも、当市の行政視察の受入れ体制と内容の充実が必要と思われるが、行政視察案内についての市長の考えは。

市長 行政視察に丁寧に対応することは非常に必要だと考えている。今年度、市のホームページのリニューアルを進めており、この中で行政視察案内のコンテンツの充実も検討してまいりたい。ともだビジョンの中で、政策で人を呼び込む市役所づくりというのがある。松浦市がやる特徴的な政策を立案・実現し、全国から注目していただくことで行政視察を始め多くの視察を受け入れたい。

○電力移出県等交付金について

質 平成28年度と29年度の電力移出県等交付金は、県に幾らの要望件数を提出して、何件承認を受けたのか。

商工振興課長 平成28年度が9事業5億2650万9000円を要望し、承認が1事業2579万4000円で、平成29年度は、6事業1億9769万8000円を要望し、承認が1事業4600万円となっている。

質 県は、毎年、この電力移出県等交付金の中から、関東圏・関西圏での長崎県の特産品のPRに関する経費、水産奨励加工品の広報事業、三川内焼、波佐見焼等を出展・PRするための費用、商談事業に充当している。当市においても、赤潮被害等で水産関係者が厳しい中、地域振興策の一環として、旬サバ、旬アジ、フグ等のPR事業等にも電力移出県等交付金を確保してほしい。そこで、市長の電力移出県等交付金についての今後の対策は。

市長 電力移出県等交付金の使い道については県議時代に問題提起をしている。その時の県の答弁は、移出金を使った事業のルールがある。松浦市からはそのルールに基づく応募がなかったというものでしたので、そのルールに基づくものをしっかりと提案すれば、採択も十分可能性があると思う。どうすればその事業を活用できるか、しっかりと内部で検討して、適切に対応していきたい。

一般質問

和田
議員

○公共施設の更新について（鷹島地区を例にして）

質 市政概況報告の中で「鷹島地区の学校整備については、学校整備方針に基づいて具体的な施設内容を示した基本計画を策定する。」と言われましたが、学校整備方針の内容について伺う。

教育総務課長 鷹島地区学校施設整備方針については、三つの基本方針として、①小中一貫教育と多様な学習内容、学習形態に対応できる教育環境、②安全・安心、心豊かな学校生活を送ることができる施設環境、③地域コミュニティの拠点としての施設環境、これらの整備を掲げている。

質 小中学校の建設予定地に隣接する市有地に公共施設を移転整備する構想があると聞いている。どのような施設を考えているのか。

会計管理者 現時点での計画では、鷹島支所、公民館などを含めた複数の公的施設を同じ敷地内で整備しようと考えている。

質 鷹島地区のように、具体的に複数の事業が進められている状況においては、庁内の組織体制の確立は急務である。市長の所見を伺う。

副市長 複数の公共施設を集約していくという基本的な構想、方針を持つている。関係課が一堂に会するプロジェクトチーム的な組織を早期に立ち上げて具体的な検討に入っていきたい。

○市民協働まちづくり事業の現状と今後について

質 この事業の創設目的、開始年度などについて伺う。

建設課長 各地域からの道路や河川に関する要望事項が多く、この全てには対応できない状況を踏まえて、地域でできる作業については地域の皆様の協力をいただき、事業を実施することを目的として、平成24年度から実施している。

質 市長が施政方針の中で述べられた「小学校区を対象とした協働によるまちづくりの推進」との関係について市長の所見を伺う。

市長 市民協働まちづくり事業は年々増加傾向にあり、7年間で4000万円を超える予算を投じている。市民皆様の協力があってこの金額で事業が実施できたことに大変感謝している。また、地域のコミュニティの強化、醸成にも大変有効な事業と考えているので、今後もその効果を十分に把握した上で、「小学校区を対象とした協働によるまちづくり」の具現化の中で検討していきたい。

一般質問

安江
議員

○青島診療所の常駐医師確保について

質 青島地区から、常駐医師の確保を強く要望されている。今年4月、70歳代の方が、夜間に激痛を我慢され、知人から病院受診を勧められたが、「夜の明けんば、気の毒か」と受診されず、明け方に救急搬送されたが、心筋梗塞で亡くなられている。また、青島地区の体験型旅行が根付いている中で、常駐医師不在は、今後影響が出てくるのではないかと考えるが、現状認識と今後の対応、計画を伺う。

市長 常勤医師が不在で、夜間診療ができず、体験型旅行を受け入れている中で診療体制が十分でないことについては、そのまま放置することはないという認識は十分持っている。しかし、医師不足の中で離島に来ていただく医師が見つからない問題もある。今回そのような事例が再び起こらないように、医師確保は当然だが、今後限られた財源の中で、どのような対策を講じることが最も



青島診療所

地域にとって良いのか十分に検討していきたい。

○げんきっこひろばの存続について
質 げんきっこひろば利用の方々は、「私たちの事を私たち抜きで決めないで下さい」との思いだが、2月27日、5月8・11・31日に今後の事を報告されたが、「報告会」の手法はいかがなものか。

市長 2月の報告会のあと、利用者からのお手紙等々を見て、まさに対話をしなければならぬということ、5月8日の意見交換会を実施し、その中で出された意見を踏まえ利用者の思いに応えるためには何ができるのかしっかりと検討し、31日にそのことを踏まえて改めて意見交換会を実施した。決してやるべきではなかったとは思っていない。

質 げんきっこの建物が壊されるとしても、サービスの代替えの検討が基本ではないか。

市長 当初から民間に委託することを前提にこの事業がスタートした。それが事業者の撤退によって暫定的な措置として行政が担ってきた。民間の業者がやるということであれば民間に委ねていくことは財源が限られる中ではやむを得ないことだと思う。

質 今後の対応はいかがか。

市長 今後はしっかりと利用者の皆さんと話し合いをしながら取り組んでいきたい。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】平成30年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

総務委員会では、松浦市全体の歳入予算について審査しています。
国及び県からの支出金として2億3153万1000円の増額補正となりました。

国支出金のうち主なものでは、保育所等整備交付金として、みくりや保育園改築事業費分1億4617万3000円の増額補正。また、橋梁の長寿命化や市道の改良、法面落下対策事業費として活用される社会資本整備総合交付金は、国からの補助率の内示により、3045万9000円の減額補正となっています。
県支出金で主なものでは、長崎県石油貯蔵施設立地対策交付金(ポンプ車及びポンプ積載車計5台並びに大型油圧救助器の購入費)として3547万8000円、産業費補助金(長崎県畜産クラスター構築事業他4事業)分として2279万8000円がそれぞれ増額補正されました。

文教厚生委員会

【議案】松浦市ふれあいセンターの
設置及び管理に関する条例の廃止
について

(仮称)JCHO松浦中央病院の開設計画の進展による松浦市ふれあいセンターの廃止に伴い条例を廃止するものです。

【議案】平成30年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

田代体育館第3期(最終)改修工事費として約4000万円が計上されました。主な内容は、床の張り替え、照明器具のLED化です。財源は合併特例債(3800万円)が充てられ、工事完了予定は、平成31年2月です。これにより、約1億円かけての田代体育館改修工事が終了します。

みくりや保育園の定員増への対応、園庭拡張の改築工事費として1億6444万円が計上されました。財源は国の保育所等整備交付金1億4600万円、市負担は、1800万円となっています。

【請願】請願第1号、30人以下学級
実現と義務教育国庫負担制度拡充
を求める請願

30人以下学級の実現と教育の機会均等及び教育の水準の維持向上を図る意見書を、国に提出するよう求めるものです。全会一致で採択すべきものと決しました。

【請願】請願第2号、「げんきっこ
ひろばの事業継続」に関する請願

松浦市直営で行われてきた療育支援事業と同様の療育環境を整えるべく、検討・議論を継続するよう求めるものです。紹介議員からの趣旨説明を受け、願意妥当と認め、市長に送付すべきものと全会一致で決しました。

なお、当委員会としては、今後利用者側に寄り添い、誠心誠意対応されることを求め、今後の推移を注視し、適宜対応していくことを確認しました。



げんきっこひろば

産業経済委員会

【議案】松浦市屋外広告物条例の制定について

西九州自動車道の延伸による景観等の著しい変化が想定されるため、屋外広告物等に係る必要な規制及び景観との調和を図るための事項を定めることに伴い、条例を制定するものです。

【議案】松浦市特別用途地区建築条例の制定について

松浦都市計画において特別用途地区を定めるに当たり、当該地区内における建築の制限及び禁止に関し必要な事項を定めることに伴い、条例を制定するものです。

【議案】平成30年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

地方創生推進交付金事業費の委託料として1749万4000円が計上されました。内容は松浦と福岡の観光交流や観光商品開発、人材育成、観光PR推進に充てられるものです。あわせて、同事業の補助金として1010万円も計上されました。内訳は、稼げる観光産業創出プロジェクト事業と体験型旅行一般客誘客推進事業に対する補助です。

所管施設調査

【総務委員会】

5月23日・24日に所管施設調査を行いました。

今回は、原子力災害対策施設（飛島・黒島）、消防署出張所（飛島・鷹島町）、福島支所庁舎、旧田代・大崎小学校を訪れ、施設の現状を調査いたしました。今後の予算などの議案審査や政策提案に役立ててまいります。



原子力災害対策施設（飛島地区住民センター）

【文教厚生委員会】

5月7日から9日まで、市内全小・中学校の所管施設調査を行いました。各学校から説明を受け、それぞれの学校の課題について、共有しました。

特に、御厨中学校浄化槽については、これまで様々な対策が取られていましたが、なお悪臭があり、教育環境整備を早急に図る必要がある事を指摘しました。教育委員会からは善処する旨の報告があつています。

また、福島小中学校共有棟の壁面のひび割れ等については、工事関係者からの説明を受けました。一部補修がなされている箇所もありますが、今後も引き続き安心して学校教育が受けられるよう、継続して注視していくことを確認しました。



御厨中学校

【産業経済委員会】

5月22日・23日に所管施設調査を行いました。

今回は、市道改良工事（市道鷹島中学校線・市道土谷鯛の鼻線・市道西木場女山線）の現場や4月にオープンした福島地域農水産物等直売所（とれたて福の島）、松浦魚市場の仕向け作業場・事務所棟、JR九州ファームアスパラガスハウス、今福梶の葉団地などを訪れ、施設の現状等を調査いたしました。

今後の予算などの議案審査や政策提案に役立ててまいります。



西木場女山線

県知事・県議会要望

6月4日長崎県庁において、市長、正副議長、地元選出県議会議員、各常任委員長、西九州自動車道整備促進特別委員長並びに関係各課長出席のもと、①松浦魚市場再整備への財政的な支援について②松浦港（御厨地区）埋立地の防災緑地整備について③2点の重点項目と他8点について、県知事及び県議会に対し要望活動を行った。回答は次のとおり。

①について（知事）浮桟橋の2基目の政策を進める。また、市場の再整備事業は着実に進めていく必要がある。県、市一体となつて予算確保に努めたい。（県議会議長）長崎市に負けない魚市を造っていかなくてはならない。整備は必要と考えている。

②について（知事）緑地整備等の事業化については、市の土地利用計画を十分踏まえた上で検討を進めたい。（県議会議長）埋立ても完了している。地元の考えも反映できるように、しっかりと計画を立てて進めていきたい。

また、現在、ドクターヘリが御厨中学校に降りている状況に関し、ヘリポートとしての埋立地の防災緑地活用や赤潮対策、福島大橋の新設等について意見交換を行った。

議 案 等 の 審 議 結 果

条 例	○松浦市財産評価委員会条例の廃止について	可決(全員)
	□松浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全員)
	□松浦市ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例の廃止について	可決(全員)
	□松浦市高齢者集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決(全員)
	□松浦市介護保険条例の一部改正について	可決(全員)
	◇松浦市屋外広告物条例の制定について	可決(全員)
	◇松浦市特別用途地区建築条例の制定について	可決(全員)
予 算	◎平成30年度松浦市一般会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	□平成30年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇平成30年度松浦市鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	□平成30年度松浦市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇平成30年度松浦市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇平成30年度松浦市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇平成30年度松浦市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)
その他	◇平成30年度松浦市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	○財産の取得について	可決(全員)
	○財産の取得について	可決(全員)
	※松浦市地方卸売市場松浦魚市場再整備 荷捌き所。工区前期新設工事(建築) 請負契約の締結について	可決(全員)
	※松浦市地方卸売市場松浦魚市場再整備 荷捌き所。工区前期新設工事(機械) 請負契約の締結について	可決(全員)
	◇松浦市地方卸売市場松浦魚市場再整備 事務所棟新築工事(建築) 請負契約の変更について	可決(全員)
請 願	◇松浦市地方卸売市場松浦魚市場再整備 事務所棟新築工事(電気) 請負契約の変更について	可決(全員)
	□30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書採択に関する請願について	採 択
議員提出議案	□「げんきっこひろばの事業継続」に関する請願について	採 択
	※30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について	可決(全員)

(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

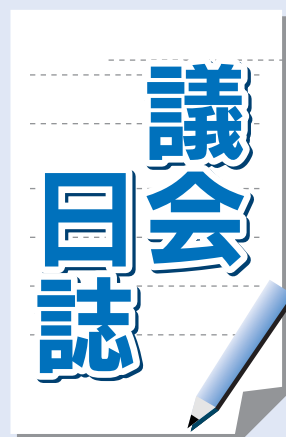
◎・・・各常任委員会へ分割付託

※・・・委員会付託を省略し全員審査

○・・・総務委員会

□・・・文教厚生委員会

◇・・・産業経済委員会



5月

7日～9日

◇文教厚生委員会所管施設調査

(市内)

8日◇原子力防災に関する県要望

(長崎市)

15日◇長野県議会会派視察来市

18日◇広報特別委員会

22日・23日

◇産業経済委員会所管施設調査

(市内)

23日◇西九州北部地域市町議会協議

(佐世保市)

23日・24日

◇総務委員会所管施設調査

(市内)

25日◇議会改革特別委員会

30日◇全国市議会議長会定期総会

(東京都)

6月

1日◇議会運営委員会

4日◇県知事・県議会議長への要望

活動 (長崎市)

8日～20日

◇第2回市議会定例会

13日◇広報特別委員会

20日◇議員研修会(公共工事に関する入札・契約について)

27日～29日

◇文教厚生委員会行政調査

(山梨県上野原市、長野県木曽町)

7月

3日◇北海道江別市議会会派視察来市

市

4日◇香川県三豊市議会行政調査来市

5日◇議会改革特別委員会

◇広報特別委員会

9日◇長崎県西九州自動車道建設促進期成会総会

(佐世保市)

12日◇伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会

(伊万里市)

13日◇西九州自動車道建設促進期成会定期総会

(伊万里市)

14日◇東彼杵道路建設促進期成会総会、棕呂路・板山トンネル建設促進期成会総会(佐世保市)

17日◇広報特別委員会

◇全員協議会

18日～25日◇マツカイ市親善訪問

(オーストラリア)



県議会要望



県知事要望

編集後記

新緑の息吹も清々しく、自然界の生命力の力強さを感じるいい季節も過ぎ、厳しい真夏日を迎える中、市民の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

本年は年明け早々の改選の年でありました。市長も代わり議会も改選され、結果として三名の新人議員も加わり、正副議長選を始めてとして議会活動組織改選の中で、議会改革特別委員会を全議員をメンバーとして今期新たに設置し、その活動のあり方について協議を進めているところでもあります。

安心して暮らすことのできるまちづくりのためにも、理事者と市民のパイプ役、代弁者として議会の役割を少しでも感じていただくことができるような、広報誌となるように努めてまいりたいと存じます。

(勇)

広報特別委員会

委員長	廣美
副委員長	大介
委員	一星
委員	誠也
委員	高広
委員	鈴木
委員	結子
委員	木原
委員	勇一